

科目名	看護解剖生理学Ⅳ 骨格系・筋系・神経系（体を支え、動かし、伝達するしくみ）					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	25時間	担当 教員	外部講師・専任教員
科目 概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、骨格系・筋系・神経系の解剖生理から体を支え、動かし、伝達するしくみを学ぶ。						
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体を支えるしくみを理解することができる。 2. 体を動かすしくみを理解することができる。 3. 情報を収集して判断し、伝達するしくみを理解することができる。 						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～3	骨と骨格 頭蓋、体幹の骨格		骨と骨格（骨の働き・組成・形態・構造・骨組織・骨の成長・骨の形成と変化・骨の老化）、頭蓋、体幹の骨格（頭蓋・脊柱・胸郭）			講義	専任教員
	体肢の骨格		上肢帯の骨格、上肢の骨、骨盤、下肢の骨				
	関節の構造と種類		関節の構造、関節の種類、関節の運動、関節の変形				
4～6	筋の種類		骨格筋、心筋、平滑筋			講義	外部講師
	筋の機能		筋の収縮機序、筋収縮のエネルギー代謝、刺激と活動電位の発生、筋収縮の種類、脊髄反射と運動単位				
	身体の運動と骨格筋 骨格筋の解剖生理		頭部の筋、頸部・背部の筋、胸部の筋、横隔膜、腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋、筋の病気				
7～12	神経の分類 神経組織の構造と機能		神経系、神経系を作る細胞、ニューロンの機能 神経系の外形、神経系の機能による区分			講義	専任教員
	中枢神経系 末梢神経系		中枢神経系（大脳・間脳・脳幹・小脳・脊髄・中枢神経系を保護する組織、伝導路） 末梢神経系（末梢神経の構造、末梢神経線維の伝導速度、脳神経、脊髄神経と神経叢、体性神経系、自律神経系、神経の成長と老化）				
	生体のリズム		睡眠とサーカディアンリズム（概日リズム）				
13	試験		(1時間)			試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学1 専門基礎 [1] 人体のしくみとはたらき 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							